

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドウィッシュ刈谷		
○保護者評価実施期間	令和6年11月25日		～ 令和6年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数) 32人
○従業者評価実施期間	令和6年11月25日		～ 令和6年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮の適切さについて。	床や壁にクッションマットを敷いている為、怪我等の防止になっている。	3階である為、職員が付き添い安全対策を行なっているが、継続的に対応させて頂きます。
2	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善について。	毎月設けている。 正社員研修、事例検討会にて時間を設けている。 面談がある。	日々の朝礼でも支援、連絡事項等について情報共有も行なっているが、意見交換の場を継続的に行ない改善に努めていく。
3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練の実施について。	マニュアル策定し、保護者様に周知する訓練も行ない、開催している。	法令に沿った対応を行ないつつ、様々な状況を想定し、職員での役割意識を高め、対応できる体制作りを行なっていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営について。	コロナ禍前に地域行事に参加したことがある。	最近事例がないため、検討していく。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会について。	児童クラブ利用児童がいるが交流まではできていない。 市内児童館利用について事業所での利用許可頂けないため、機会を作ることが難しい。	「放デイって何？」への参加で、内容により地域子どもとの交流の場がある。 今後連携を図りながら、取り入れていけるように検討していく。
3	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等について。	状況に応じて必要があれば、提供しているが、昨年度は卒業児対応がなく、分からないこともあるため、対応方法について学ぶ機会を作っていく。	今年度は対象児童事案がある為、保護者様や相談機関との連携を図って対応していく。